



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月27日

上場会社名 トランコム株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 9058

URL <http://www.trancom.co.jp/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 清水 正久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務人事・財務経理担当 (氏名) 岩尾 徹

TEL (052)939-2011

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	74,251	11.8	3,826	15.0	3,743	17.6	2,138	15.9
25年3月期第3四半期	66,425	10.2	3,326	18.1	3,184	13.1	1,844	22.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,167百万円 (17.6%) 25年3月期第3四半期 1,843百万円 (26.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	220.38	—
25年3月期第3四半期	190.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	33,117	18,451	55.7	1,900.47
25年3月期	33,412	17,233	51.5	1,774.94

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,441百万円 25年3月期 17,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	32.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	13.4	4,890	14.6	4,760	16.0	2,650	12.9	273.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) ― 、 除外 ―社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	10,324,150 株	25年3月期	10,324,150 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	620,578 株	25年3月期	620,418 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	9,703,648 株	25年3月期3Q	9,673,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託(J-ESOP)」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託(J-ESOP)」が所有する当社株式を控除しております。なお、平成25年12月31日現在において、「株式給付信託(J-ESOP)」が所有する自己株式は15,000株であります。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、公共投資の増加や消費税の増税前の駆け込み需要等により、平成25年度末にかけて成長が加速する見通しである一方、消費税率の引上げによる反動減やTPP（環太平洋連携協定）の交渉結果の経済への影響等、日本企業にとって予断を許さない状況が継続するものと思われます。

物流業界におきましては、景気回復が着実に進展する中、燃料価格の高止まりや貨物量増加に伴う車両不足、ロジスティクス・コストの低減という荷主企業のニーズに応えるための体制強化を求められる等、物流事業者間の競争は厳しさを増しております。

このような情勢の下、当社グループは、中期経営計画「FF2015」の2年目として、コア事業であるロジスティクスマネジメント事業における更なる生産性の向上、物流情報サービス事業における新サービスの展開、インダストリアルサポート事業における事業基盤の確立を目指して、各事業の徹底強化に取り組んでまいります。また、これまで事業ごとに分かれていた営業体制から、各事業グループを横断したALL TRANCOMの営業推進体制を構築し、ワンストップで総合的にサービスを提供してまいります。

当社グループにおける、当第3四半期連結累計期間の主な拠点展開等は、次のとおりであります。

- 平成25年4月 営業推進グループを新設し営業機能を統合
- 平成25年4月 東京都港区に中ロット関東センターを開設
- 平成25年5月 大阪府枚方市に枚方事業所を開設

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は742億51百万円（対前年同四半期増減率 11.8%）、営業利益は38億26百万円（同 15.0%）、経常利益は37億43百万円（同 17.6%）、四半期純利益は21億38百万円（同 15.9%）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	26,843	27,092	248	0.9
セグメント利益（営業利益）	1,995	2,100	104	5.3

一部の拠点における業務縮小及び撤退等がありましたが、前期及び今期に開設した拠点が業績へ寄与し、既存拠点における貨物出荷量も増加しました。また、全拠点での日次収支管理の徹底により、収益力向上に取り組んだ結果、増収増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	36,000	39,222	3,222	9.0
セグメント利益（営業利益）	1,326	1,562	235	17.7

各情報センターで積極的に営業活動に取り組み、専属車両を増やす等、減少傾向にある空車情報の確保に注力しました。また、コア業務へ集中できる運営体制を構築し、センター運営の効率化に取り組んだ結果、成約件数が増加し、増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,257	5,780	4,523	359.8
セグメント利益 又は損失（△）（営業利益）	△37	181	218	—

㈱スマイルスタッフの連結化により大幅な増収となりました。また、組織体制の見直しを行い、事業基盤の徹底強化に取り組んだ結果、収益力向上が図られ、増益となりました。

④ その他

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	2,949	3,022	73	2.5
セグメント利益（営業利益）	110	127	16	15.0

当セグメントは、情報システム開発事業及び自動車整備事業等であります。

- (注) 1. 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしておりません。
 2. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった㈱スマイルスタッフ（インダストリアルサポート事業）は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。
 3. 非連結子会社であった以下の3社（インダストリアルサポート事業）は、事業上の重要性が増したため第1四半期連結会計期間より連結しております。
 特蘭科姆国際貨運代理（上海）有限公司
 特蘭科姆人才服務（天津）有限公司
 TRANCOM (HK) LIMITED

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の各残高における、前連結会計年度末と比較した結果は次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が1億66百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が2億65百万円、繰延税金資産が1億74百万円それぞれ減少したこと等により、2億60百万円減少し186億59百万円となりました。

固定資産は、ソフトウェア開発等により無形固定資産であるソフトウェア仮勘定が4億76百万円増加した一方、有形固定資産が減価償却等により2億93百万円、無形固定資産であるのれんが償却により1億89百万円、投資その他の資産が6百万円それぞれ減少したこと等により、35百万円減少し144億57百万円となりました。これらにより資産合計は、2億95百万円減少し331億17百万円となりました。

② 負債

流動負債は、未払費用が1億5百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1億37百万円、未払法人税等が7億46百万円、未払消費税等が1億47百万円、賞与引当金が2億86百万円それぞれ減少したこと等により、12億25百万円減少し117億41百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が返済により1億87百万円、リース債務がリース料の支払により1億23百万円それぞれ減少したこと等により、2億87百万円減少し29億24百万円となりました。これらにより負債合計は、15億13百万円減少し146億65百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が四半期純利益等により11億89百万円増加したこと等により、12億18百万円増加し184億51百万円となり、自己資本比率は55.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月28日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633	2,799
受取手形及び売掛金	15,427	15,162
商品	8	7
仕掛品	3	2
貯蔵品	19	13
前払費用	324	378
繰延税金資産	276	101
その他	232	199
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	18,919	18,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,061	7,091
減価償却累計額	△2,979	△3,173
建物及び構築物（純額）	4,082	3,918
機械装置及び運搬具	2,652	2,772
減価償却累計額	△1,909	△2,024
機械装置及び運搬具（純額）	743	748
土地	2,940	2,940
リース資産	2,818	2,553
減価償却累計額	△889	△845
リース資産（純額）	1,929	1,708
建設仮勘定	0	39
その他	569	670
減価償却累計額	△388	△441
その他（純額）	180	228
有形固定資産合計	9,876	9,583
無形固定資産		
のれん	1,018	828
リース資産	12	13
ソフトウェア仮勘定	966	1,442
その他	450	428
無形固定資産合計	2,448	2,713
投資その他の資産		
投資有価証券	484	511
繰延税金資産	308	297
差入保証金	1,215	1,199
その他	197	201
貸倒引当金	△36	△48
投資その他の資産合計	2,168	2,161
固定資産合計	14,493	14,457
資産合計	33,412	33,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,180	6,042
短期借入金	2,515	2,566
リース債務	301	240
未払金	234	182
未払費用	1,261	1,366
未払法人税等	1,112	365
未払消費税等	441	294
賞与引当金	426	140
役員賞与引当金	38	28
その他	454	513
流動負債合計	12,966	11,741
固定負債		
長期借入金	264	76
リース債務	1,865	1,742
再評価に係る繰延税金負債	13	13
退職給付引当金	208	200
株式給付引当金	39	67
資産除去債務	385	393
長期未払金	108	107
その他	327	323
固定負債合計	3,212	2,924
負債合計	16,179	14,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,230	1,230
利益剰余金	15,851	17,040
自己株式	△972	△972
株主資本合計	17,189	18,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	19
土地再評価差額金	24	24
為替換算調整勘定	△0	19
その他の包括利益累計額合計	34	63
少数株主持分	9	10
純資産合計	17,233	18,451
負債純資産合計	33,412	33,117

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	66,425	74,251
売上原価	61,801	68,759
売上総利益	4,624	5,491
販売費及び一般管理費	1,297	1,665
営業利益	3,326	3,826
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
その他	21	40
営業外収益合計	30	49
営業外費用		
支払利息	130	119
その他	42	13
営業外費用合計	172	132
経常利益	3,184	3,743
特別利益		
固定資産売却益	52	14
その他	2	0
特別利益合計	54	14
特別損失		
固定資産廃棄損	9	16
減損損失	61	—
その他	0	5
特別損失合計	70	21
税金等調整前四半期純利益	3,167	3,736
法人税、住民税及び事業税	1,234	1,399
法人税等調整額	85	200
法人税等合計	1,320	1,600
少数株主損益調整前四半期純利益	1,847	2,135
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△2
四半期純利益	1,844	2,138
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2	△2
少数株主損益調整前四半期純利益	1,847	2,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	9
為替換算調整勘定	0	21
その他の包括利益合計	△4	31
四半期包括利益	1,843	2,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,839	2,167
少数株主に係る四半期包括利益	3	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,823	35,944	1,220	63,988	2,436	66,425	—	66,425
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20	55	37	112	512	625	△625	—
計	26,843	36,000	1,257	64,101	2,949	67,051	△625	66,425
セグメント利益 又は損失(△)	1,995	1,326	△37	3,284	110	3,394	△68	3,326

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△68百万円には、セグメント間取引消去△68百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,075	39,140	5,635	71,850	2,400	74,251	—	74,251
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16	82	145	244	621	866	△866	—
計	27,092	39,222	5,780	72,095	3,022	75,118	△866	74,251
セグメント利益	2,100	1,562	181	3,843	127	3,970	△144	3,826

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム開発事業及び自動車整備事業により構成し、一部の海外展開のための本社費用を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△144百万円には、セグメント間取引消去45百万円、のれんの償却額△189百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成25年2月22日の株式取得に伴い連結子会社となった(株)スマイルスタッフ(インダストリアルサポート事業)は、決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9ヶ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3ヶ月分の損益については、利益剰余金の増減額として調整しております。